



2013年6月6日

## GE ヘルスケア・ジャパン 日本のユーザーの声を反映した 外科用デジタル C アーム装置の新製品発売

—高画質・低線量で、患者さんの QOL 向上に寄与—

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)は 2013 年 6 月 6 日(木)、外科用デジタル C アーム装置「OEC Brivo Essential (オーイーシー・ブリボ・エッセンシャル)」、「OEC Brivo Plus (オーイーシー・ブリボ・プラス)」の 2 機種を発売します。

「OEC Brivo Essential」は、2010 年に発売された「Brivo OEC 850」の後継機です。高画質と低線量を両立し整形外科領域を中心に多くのユーザーを持つ「Brivo OEC 850」は、2 年半の間にたくさんの日本のお客様にお使いいただいてきました。このたび発売する「OEC Brivo Essential」は、グローバル製品でありながら日本の声を開発に反映し、より容易な画像操作を実現するなど装置の使い勝手を向上しました。最大の特徴は、これまで上位機種のみを搭載されていた「スマートメタル (SmartMetal) \*1」や「オートトラック (AutoTrak) \*2」という高レベルの自動画像処理機能の適応により、常に最適な画像条件を提供し、普及機モデルにおけるハイクラス並みの機能を高いコストパフォーマンスによって提供できることです。これらにより、より安全で、快適な手術の環境を提供し、患者さんの QOL(Quality of Life)向上に寄与します。

65歳以上の高齢者が総人口に占める割合が23.3%と超高齢社会を迎えた日本。厚生労働省の統計によれば、骨折は脳血管障害、衰弱に次いで、高齢者が寝たきりになる原因の第4位となっています。(出典:厚生労働省「平成22年 国民生活基礎調査」)中でも、脚の付け根の骨が折れてしまう大腿骨頸部骨折は、高齢者、特に女性の骨粗しょう症有病者に多く発生し、患者数は1987年には約53,200人だったものが2007年には約148,100人と、20年間で約2.8倍に急増しています。(出典:「第4回・第5回大腿骨頸部骨折全国頻度調査」)



OEC Brivo Essential

一方、患者の QOL 向上や医療コストの削減のため、整形外科分野においては最小侵襲手術 (Minimally Invasive Surgery) へのニーズも同様に一層高まっています。最小侵襲手術においては高画質の外科用イメージの使用は必須となりつつあり、高いコストパフォーマンスと簡便な操作性を両立する装置が求められていました。外科手術時の長時間にわたる X 線透視撮影時にも、的確な治療に不可欠な高画質の撮像に加えて、低被ばく化へのニーズも高まっています。「OEC Brivo Essential」は、こうしたニーズや社会背景に対応できる、高画質と低線量を実現したバランスのとれた新製品です。

「OEC Brivo Essential」は、軽量コンパクトな C アーム本体にかかわらず、C アーム部はクラス最大級となっており、手術用テーブルとの干渉を最小限に抑えることが可能となりました。ワークステーションと C アームの接続および切り離しは電源が入ったままでも可能で、物品が多く手狭になりがちな手術室でのセットアップ

が一層容易となりました。この機能は当社の上位機種にもまだ搭載されていない最新技術であり、装置に熟練した医師や技師の存在が不可欠な手術室の中で、チームスタッフの動きをサポートし、常に最良の環境を維持することに寄与します。

なお、タッチ・スクリーンを搭載し、更なる低線量を実現した「OEC Brivo Plus」も同時発売します。

国内の外科用イメージ市場が年間約 48 億円の規模を持つ中、GE のデジタル C アーム装置 OEC シリーズは 1999 年の発売以来、国内の大規模病院から専門クリニックまで幅広い医療機関のニーズを満たす製品を世に送り出してきました。業界トップシェアを誇る企業(出典: 矢野経済)として、先端的な技術で常に国内の C アーム市場をリードしてきた当社は、今回発売する OEC Brivo シリーズ 2 機種を、整形手術を手掛ける医療機関の新規購入・買い替えを主対象に発売します。また、最上位機種 OEC 9900 Elite を含めた全 OEC ラインアップの拡販を図り、国内の C アーム市場でのトップの地位確立を目指します。

\*1: SmartMetal: 撮影視野内に入ってくるインプラントやドリルといった金属体を装置が自動検知し、その金属を除外して画像処理を行うことにより、金属の画像への悪影響を自動的に排除することを可能とした機能。

\*2: 視野内の被写体を自動認識・追従することも可能であり、被写体の位置にかかわらず、最適な画像条件を自動で提供することを可能とした機能

製 品 名: OEC Brivo Essential  
(販売名称: OEC Brivo シリーズ、類型: Essential)  
希 望 小 売 価 格: 2,300 万円(消費税別。構成により異なる)  
発 売 日: 2013 年 6 月 6 日  
初年度国内販売目標: 40 台  
医 療 機 器 認 証 番 号: 225ACBZX00037000 号

製 品 名: OEC Brivo Plus  
(販売名称: OEC Brivo シリーズ、類型: Plus)  
希 望 小 売 価 格: 2,500 万円(消費税別。構成により異なる)  
発 売 日: 2013 年 6 月 6 日  
初年度国内販売目標: 10 台  
医 療 機 器 認 証 番 号: 225ACBZX00037000 号

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、CT(コンピューター断層撮影装置)や MR(磁気共鳴断層撮影装置)などの医療用画像診断装置やヘルスケア IT をはじめ、メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)や生体情報モニターから、創薬、バイオ医薬品、ならびに医療機関の経営支援に至るまで、幅広い分野にわたる専門性を生かし、次世代の患者ケアをデザインする先端的な医療技術ならびに医療サービスを提供しています。米ゼネラル・エレクトリック(GE)のヘルスケア事業部門である GE ヘルスケアの日本での中核拠点として、現在 GE が全世界で推進している「ヘルシーマジネーション」戦略にもとづき、医療コストの削減、医療アクセスの拡大、ならびに医療の質の向上を実現する革新的な製品やサービスの開発を継続しています。GE 横河メディカルシステムと GE ヘルスケア バイオサイエンスが 2009 年 8 月 1 日付で事業統合し、「GE ヘルスケア・ジャパン株式会社」としてビジネスを開始。2010 年 1 月 1 日現在の社員数は 1,890 名、国内で展開する事業所数は 55 カ所、2009 会計年度(2009 年 1 月～12 月)の総売上は約 1,190 億円。ホームページアドレスは [www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 プランチャード/松井  
Tel: 0120-202-021